

三重大学

住所 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://www.mie-u.ac.jp/>

担当 人文学部教授 朴 恵淑

TEL: 059-231-9157 park@human.mie-u.ac.jp

<ユネスコスクール支援内容>

ユネスコスクール加盟校・申請校と産官学民の連携による地域・国際ネットワーク支援活動

三重大学は、三重県のユネスコスクール拠点大学として、ユネスコスクールの加盟校及び申請校、ユネスコスクール加盟を目指している学校の活動について、産官学民の連携による支援を行なっています。

01 トヨタ自動車（株）と三重大学、三重県内のユネスコスクールとの連携による「アクア・ソーシャル・フェス in 松名瀬 2017（三重県初のラムサール条約登録を目指した松名瀬生物多様性学習）」支援

2017年5月20日と10月28日に、伊勢湾最大の干潟である松名瀬干潟において、トヨタ自動車（株）と三重大学、ユネスコスクールの三重中高、ユネスコスクール登録を目指す松阪市、大台町の小中高校、三重県、松阪市、地元企業、メディア、自治会、観光協会、漁業組合などの産官学民の連携による干潟清掃と生物多様性学習を行い、600名の参加による活動支援を行いました。自然と人間との調和の取れた持続可能な社会構築のため、三重県初のラムサール条約登録に向けた「アクア協議会-連絡先；三重大学地域ECOシステム研究センターと松阪市」を結成し、継続的に活動支援を行うこととなりました。（写真1）

02 中部電力（株）と三重大学、四日市公害と環境未来館、三重県地球温暖化防止活動推進センターとの連携による「エネルギー学習2017」支援

2017年8月9日から10日まで、「四日市公害と環境未来館」において、中部電力（株）と三重大学、四日市市内のユネスコスクール登録を目指している幼

稚園児、小中高校生、教員の 70 名を対象に、2 回にわたる夏休みエネルギー環境学習を行いました。四日市公害の語り部から四日市公害の過去・現在・未来について学び、三重県最大の川越火力発電所及びテラ 46 の見学、人力による発電、電気の仕組み学習を行い、2 日間の学習内容に関する壁新聞を作成し、夏休み自由学習の報告書として提出できるような支援を行いました。また、12 月 3 日には、中部電力（株）と三重大学、三重県地球温暖化防止活動推進センターとの連携による三重大学生と三重県地球温暖化防止活動推進員の 42 名を対象に、浜岡原子力発電所の見学を行いました。「エネルギー学習」の成果報告は、2018 年 3 月 17 日に三重大学にて行うこととなりました。（写真 2）

03 三重県日中友好協会、中華人民共和国駐名古屋総領事館と三重大学、三重地区中国留学生学友会及び三重県内のユネスコスクール登録を目指す大学生との連携による「日中国交正常化 45 周年記念日中友好青年宣言（和文・中文）」支援

2017 年 12 月 2 日に、三重地区中国留学生学友会と三重大学、三重県日中友好協会の連携による、三重大学生と三重地区中国留学生との国際交流支援を行いました。また、日中国交正常化 45 周年を記念して、中華人民共和国駐名古屋総領事館、三重県日中友好協会と三重大学、三重県内のユネスコスクール登録を目指す大学生との連携による「日中国交正常化 45 周年記念日中友好青年宣言文（和文・中文）」支援を行いました。三重大学生及び中国からの留学生、三重県内の大学生の 80 名が中心となって、「日中国交正常化 45 周年記念日中友好青年宣言文（和文・中文）」の作成支援及び、2017 年 12 月 9 日に、丹羽宇一郎日中友好協会会長と学生代表 6 名（三重大学生 3 名と中国からの留学生 3 名）とのトークセッション及び「日中国交正常化 45 周年記念日中友好青年宣言（和文・中文）」を行い、日中友好における若者の役割について真剣に考え、活発な国際交流を行うことを誓いました。（写真 3）

<ESD 活動紹介>

三重大学の ESD 活動内容

「CAS-Net JAPAN 第 3 回サステイナブルキャンパス賞 2017」を受賞

2017 年 11 月 17 日に、三重大学が積極的に進めている「スマートキャンパス事業（創エネ・蓄エネ・省エネ）」が、日本サステイナブルキャンパス推進協

議会（CAS-Net JAPAN）主催の第3回「サステイナブルキャンパス(SC)賞 2017」において、建築・設備部門の最高賞のSC賞 2017を受賞しました。三重大学が全学あげて2011年から取り組んでいるスマートキャンパス実証事業によって、二酸化炭素26.4%削減の実績が認められての受賞でした。2015年の地球温暖化防止パリ協定書の策定時に、日本政府が掲げている2030年までの二酸化炭素削減目標が26%であることを踏まえると、三重大学のスマートキャンパス事業は、13年も早い2017年にすでに目標達成という大偉業を成し遂げたこととなります。今後、引き続き、地球温暖化防止においてトップランナとしてさらなる成果を上げるべく、継続的努力が求められています。（写真4）